

# 緑化だより No.216

令和 7年6月号



マタタビ

- 季節の花(ゆり(ササユリ、ヤマユリ))
- 水生昆虫の話  
(ブユ類)
- 小さな世界こけ(胞子体の違いⅢ)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

ひろしま遊学の森

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2



広島県  
緑化センター  
二次元コード

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>

# 季節の花

ゆり(ササユリ、ヤマユリ)

「道の辺(へ)の、草深百合(くさふかゆり)の、後(ゆり)もと言ふ

妹が命を 我れ知らぬやも」

作者 柿本人麻呂 万葉集 卷11-2467

これを訳しますと

「道ばたの深い茂みにひっそりと隠れて咲いている百合(ユリ)のように

後(のち)ほど返事をしますと彼女は言うけれども、いつになるやら

あの娘の寿命など私が知っているものでしょうか」

後(ゆり)は「後<sup>あと</sup>で」のことで、花のゆりと同音のため、ていどいゝ拒絶であることもあり、煮え切らぬ女の態度を不満に思う歌です。

ユリはユリ科ユリ属の球根植物で数が多く、総称として“ゆり”と呼ばれていますが、古くから人々に知られているのはヤマユリとササユリです。

ヤマユリは本州中部以北の山地に自生します。花は大きく、白色で花弁の内側に赤い点がいくつかあります。

ササユリは日本固有種のユリです。中部地方以西から四国、九州にかけて分布して山地の草原や明るい森林に生え、花は淡いピンク色で花弁の内側に点はありません。

花期は6～7月頃で、茎の先に花を咲かせます。

葉が笹に似ていることからササユリといわれ、里山に入り上品で香りと気品のあるピンク色の花に出会うと思わず感動します。

いつまでも絶えることなく見守り、長く咲き続けてほしいものです。(上村)



ササユリ

# 水生昆虫の話

ブユ類

梅雨の時期になりました。ちょうど春から初夏にかけて川の近くで作業や散策などしていると、黒くて小さなハエのような虫「ブユ」が群れをなしてまとわりついてきて、不快な思いをされた方も多いのではないでしょうか。広島では「ブト」とか「ブヨ」とも呼ばれています。

夏の暑い時期になると、特に気温が下がる朝方や夕方によく集団で出現します。そっと近づいてきて、ノギリ状の口で皮膚をかじり、流れ出た血を吸うのですが、ブユの唾液成分が蚊よりも毒性が強いので、こいつに血を吸われると蚊よりもひどく腫れて痒みも強くて長く続くため、とてもやっかいな衛生害虫です。

ちなみに、黄色やオレンジなどの明るい色の衣服やカッパには比較的寄ってこないそうです。

そんな「ブユ」ですが、蚊やアブなどと同じ双翅目(ハエ目)のブユ科に属しており、なんと！日本には4属約60種もが分布しています。成虫の体長は2～7mmで、体は小さいですが翅はハエのように比較的大きく、脚が太くて短いのが特徴で、蚊と同じで吸血するのはメスだけです。が、中には吸血しない種もいます。

ブユの幼虫は水質汚濁に弱いので、山地溪流などのきれいな河川の流水中に多くが生息しています。なので、河川環境においては「水質階級I:きれいな水」の指標生物でもあります。

幼虫の体長は約6~10mm程度で、細長い雫のような、一輪挿しのような、花瓶のような、円筒のような、細長いフラスコ型をしています。溪流の岩の表面や水草などつるつると滑らかな面にピタッと吸着して、水の流れてゆらゆら揺れながら流れてきた有機物などを食べて過ごしているようです。約4週間で糸を吐いて蛹となり、その後1週間で羽化して成虫になるそうです。

ちなみに、成虫も幼虫も、ほぼ一年中活動しているので、年中見ることができます。

とても小さいので幼虫を川の中で見つけるのはなかなか大変ですが、幼虫は吸血しませんので、もし見つけたらそのピタッと張り付く吸引力や吐き出す糸など観察してみると楽しいです。

(写真は3種の幼虫です)(西村)



ブユ3種類

### 孢子体の違い III

#### タイ類の孢子体(その2)

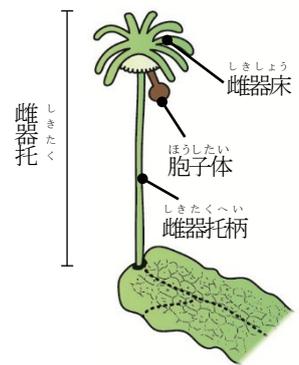
前回はタイ類ウロコゴケの仲間をみましたが、今回はタイ類ゼニゴケの仲間の孢子体を試みましょう。

ジャゴケ、ゼニゴケ、ケゼニゴケ、フタバネゼニゴケ、ジंगाサゴケなどゼニゴケの仲間はすべて葉状体で、雌雄異株です。(雌株の名称は右図の通りです。)

葉状体の葉の先に雌器托をつけます。

雌器托は托柄と雌器床しきしようからなります。雌器托の上には傘の様な形をした雌器床をつけ、その下に孢子体をつけます。孢子体は柄と孢子のうからなり、孢子のうは成熟すると裂け、弾糸を使って孢子を飛ばします。雄株と雌株が混生している場所では、受精後孢子のうが作られますが、雌株だけの群落では受精できないため、傘(雌器床)はつけても孢子体はできません。

雌器床の形は種類により異なり、その形からも種を同定することができます。(山根)



ゼニゴケの雌株の名称



ジャゴケの雌器托  
雌器床は円錐形の傘状



ゼニゴケの雌器托  
雌器床は破れ傘のよう



ケゼニゴケの雌器托  
雌器床にも毛がある



フタバネゼニゴケの雌器托  
未受精の雌器床は羽根のようになる



ジंगाサゴケの雌器托  
陣笠の様な雌器床

## 研修会のご案内

### ○6月 1日(日) 『自由工作塾』

自然の素材で自由に工作

※ 自由参加(随時受付)、材料費 1 作品につき 100 円

10:00～15:00 レストハウス前

講師:緑化センターボランティア

ふれあい湧

### ○6月 1日(日) 『ネイチャーゲーム』

自然の中での遊びを体験しましょう

※ 自由参加(随時受付)、無料

10:00～15:00 レストハウス前

講師:広島市

シェアリングネイチャーの会

### ○6月 11日(水) 『常緑樹の剪定講座』

基本を学び、屋外で実技を行います

※要予約(先着 15 名)、無料、剪定鋏・手ノコ持参

10:00～12:00 学習室 集合

講師:NPO 法人 樹木医ひろしま

藤原 康之

### ○6月 14日(土) 『6月の植物観察会』

散策路を歩きながら植物を観察します

※自由参加、無料

10:00～12:00 学習展示館前 集合

講師:環境カウンセラー・自然観察指導員

和田 秀次

### ○6月 20日(金) 『落葉広葉樹の見分け方』

実物の枝や葉を用いて見分け方を学びます

※自由参加、無料、ルーペ持参

10:00～12:00 学習室 集合

講師:森林植物研究家

埤田 宏

### ○6月 22日(日) 『梅雨のきのこ入門観察会』

園内を歩きながら生えているキノコの説明を聞きます

※要予約(5/22(木)9時～6/8(日)の期間、

HPより事前申込み、抽選で15名) 無料

10:00～12:00 学習展示館前 集合

講師:きのこアドバイザー

川上 嘉章

### ○7月 4日(金) 『7月の植物観察会』

散策路を歩きながら植物を観察します

※自由参加、無料、

10:00～12:00 学習展示館前 集合

講師:森林研究家

埤田 宏

### ○7月 6日(日) 『夏のきのこ教室』

園内でキノコを採集し、午後、持ち寄ったキノコを鑑定します

※自由参加、無料、採集用かご持参

10:00～14:00 第3駐車場 集合

講師:きのこアドバイザー

川上 嘉章

## ♪☆ お知らせ・ご案内 ☆♪

### ・ 第23回 ひろしま「山の日」 県民の集い

6月 1日(日) 10:00～15:00

山に親しみながら 森林の役割や大切さを知ろう

場所:レストハウス前広場

山の手入れ、自由工作塾、ネイチャーゲーム

### ◎ 展示会

場所:レストハウス (ボード展示)

### ・ 第17回ひろしま遊学の森子ども写生大会作品展

6月 13日(金)～6月 29日(日)

場所:レストハウス (ガラスケース展示)

### ・ 陶友会作品展

～6月 24日(火)

福田公民館で活動している「陶友会」による陶芸作品の展示